

「相模川水系相模川・中津川河川整備計画（原案）」に対する公聴会

日 時：平成30年1月14日（日）15:00～15:20

会 場：神奈川県厚木土木事務所

発言者：公述人 1

相模原区から来ました桂川・相模川流域協議会の■■と申します。よろしく申し上げます。時間が限られているので早速説明を始めたいと思うんですが、まず原案の29頁「河川環境の整備と保全に関する目標」の29行目なんですけど、「本川及び支川の縦断的な生息環境の保全に努める。」ということで、この内容が入ったということは評価したいんですけども、非常に抽象的で分かりにくいという風に感じています。串川の例で縦断的な生息環境の保全とはどうゆうことかということを少し説明したいと思います。これは串川の現在の姿で、床止め工が施されていて、高さが約1mの段差が発生していて、ここですぐ生態系の分断が行われている。連続性が損なわれているので、魚道整備又はスリット化をして連続性を確保することが必要だと思います。それを原案に付け加えていただきたい。

次に原案35頁の「磯部頭首工の改修」なんですが、原案によるとですね「固定堰の可働化等の改築を行う。」ということで、施工の場所は記載されていますが、これ以上のことは記載されていません。どういう施工にするのかという具体がこれじゃ分からない訳ですね。これ以上具体的な内容を原案に記載する必要があると思います。ところが平成27年度の神奈川県の「河川整備計画検討業務」にはですね以下の内容があって、経済的である部分改築案+ラバー式起伏ゲート案で詳細な改築図面の作成及び概算工事費の整理を行っているということで、すでに計画案が出来上がっているという風に考えます。そして、概算工事費は15億7400万となっていますので、かなり具体的な計画案があるということで、原案にはですね可能な限り計画を記載すべきだという風に考えます。さらに、頭首工改築と併せて二極化している下流のですね整正が計画されている。ここが磯部の頭首工で、ここが下流の河原ですね。ここは低水路になっていて低水路が深掘れしています。そして、この河原はですね陸地化しているということで、二極化が起こっている場所で、ここを元の自然なその場の姿に戻そうということです。この場所はですね中水敷が36.9ha、高水敷2.9ha、9割以上がですね低水路空間になっている。それはここで分かります。中水敷が36.9、それから高水敷が2.9ということで、このですね元々の河川の区分の面積を踏襲してそれから逸脱しないように整合した形で多自然型川づくりをやらなきゃいけない。それでまとめですけど、原案には具体的な改修内容が記載されていない。神奈川県は既に具体計画を作成しているから、原案に記載すべきである。改修に伴って堰下流の河原の二極化を整正する計画であるが、中水敷を含む低水路空間は多自然川づくりで整備すること。

次に「相模川水系河川環境管理基本計画」についてですけども、原案ではですね「相模川水系河川環境管理基本計画に基づき適正な保全と利用を図る。」ということで、位置付けられている。ここはすごくいいことだという風に評価しますが、やはり具体的にどうするかということがはっきりしません。適正な保全と利用を図るルールが明確ではないので、今後ルールを明確にしなければいけないという風に考えます。すでにですね、60年に神奈川県がつくったゾーニングがありますけれども高水敷と中水敷の区分が設定されているわけです。今さっき示しました中水敷と高水敷の面積がすでにもう出ております。高水敷が383ha、中水敷が340ha、全体で723ha。これはですねゾーニングの基本的な数値でありまして、

これをですね逸脱することは、ゾーニングそのものの根幹を揺るがすということで、「環管計画」を踏襲するということは、この数値から逸脱しないということの意味をしています。今さっき示したように、かなり詳しい1kmごとの面積割合の数値が決定されている訳ですから、それを遵守していただきたい。今さっきの面積の一覧をもとにですね神奈川県は高水敷・中水敷の経年図を作成しています。一目瞭然で、どこに高水敷があり、どこに中水敷があつて、どこに低水路があるかということが分かりますので、こういう図がなければですねちゃんと正しい管理ができないということです。また26年度の「河川整備計画検討業務」これは神奈川県ですけれども、断面図があつてですね、高水敷で人工系な利用が可能な場所、それから環境を保全すべき場所・空間というのが設定されている訳ですね。こういう断面図と示しました平面図があればですね、かなり具体的なゾーニングのルールが設定できるだろうと。高水敷と中水敷を明確に区分できないというところがありますけれども、これはですねやはり先ほど示しましたその面積の数値に従つてですね、それを踏まえてですね決めていくということが必要だと思います。いまの利用形態とですね、それからゾーニングですね、その範囲がずれていて、計画とですね現状の利用が乖離しているそういった場所が見受けられます。これもですね、やはり今回の原案では書かれていませんけれども、見直していく必要があると思います。さらにですね、ゾーニングだけではなくて低水路空間の保全ということが必要だと思います。これはですね、昭和スポーツ公園ですけれども低水路に設置されている。さらに土塁がつくられていて、これは川に横断的な形でつくられているということで、治水上問題があるだろうという風に考えます。ここは元々低水路なので、ここを掘削する計画がありますね。それは河川断面が足りなくて、洪水被害の危険があるということで、その掘削の時にここは自然の河原に戻していくということが必要だと思います。26年度の検討業務ではですね、ルールを明確にする必要があるということを検討されていて、今後の占用許可にあたって、空間区分の明確なルールによる必要がある。ここでは現状の利用状況や、自治体の要望に流されないように空間管理計画の検討時の考え方に立ち戻り、導入施設、運用上の留意点等を整理した。もう既にルールが整理されていますから、その整理されたものをですね、やはり原案に載せていくべきだという風に考えます。まとめとして、管理計画の河川区分平面図と整合させる。それから、スポーツ広場については占用許可の見直しが必要である。それから、中水敷が残っていくよう出来ないルールをつくる。それから、空間管理計画の管理ルールを明確にする。ゾーニング計画と現行の利用に乖離があるので早急に改善することがまとめです。

それから目標流量についてですけれども、原案ではですね磯部から上流の目標流量が不明です。厚木地点で6,100、国の管理で7,200、これが1/50の確率なんだということは書いてありますが、磯部から上流のことは書いてないんですね。それについては分からないということで、それじゃ困るぞということですが、原案にはこういうですね配分流量図が描いてあつて、磯部までは描いてあります。5,500ですね。しかし、磯部から上流ですね城山ダムまでは、これは何も書いてないので、これでは分からない。実はですね平成28年9月神奈川県の打合せ資料の中にこういうものがあるのです。ちょっと見にくいんですが、磯部から上流ですね。ここです。4,500。1/15の目標とっている。河口では1/50、これは原案に書いてあります。この1/26も原案に書いてません。要はこっからこのところは抜けている訳ですね。これはちゃんとやっぱり記載すべきですね。この1/15というのが本当に妥当性があるのかということは、検討しなければいけない。磯部から上流1/15、流量で4,500、確率規模1/15であることは、破堤のリスクが他と比較して、大きくて妥当性がないんじゃないかという風に考えられます。全国の整備計画で1/15の確

率です。ですね出来ているところを探すとほとんどないので、やっぱりこれはおかしいんだと考えます。目標流量のまとめとして、磯部から上流をですね原案に明記すること。それから、磯部から上流の確率1/15、目標流量4,500は、見直しが必要だ。

最後にカワラノギクのことを述べたいと思います。カワラノギクの保全についてはですね、ここに位置付けられているので非常に評価したいと思いますが、今までですね、既に管理者と地域住民・市民団体がですね、協働して実績を積んでいる。これは2017年7月の礫河原の再生、カワラノギクの圃場の整備ですね。厚木の土木事務所が努力されて、私たちの要望を聞き入れて玉石河原を再生したということです。光明学園のみなさんがですね猛暑の中、その圃場で種まきをした。ところがですね、課題が多く浮かび上がって、近隣の治水工事の附帯工事としてしか出来なかったんですね。カワラノギクを保全する、玉石河原を再生するという整備項目がないので、それについてはですね、単独で整備することは出来ない。今度それがやっと位置付けられましたので、整備することが出来るだろうと期待しております。残念ながら4月の種まきまでには間に合わずに発芽は出来ませんでした。また今年当然まいて、新しく圃場をつくりたいと思います。これはですね既に圃場が出来上がったところで、みなさんとですねお花見をしている。京浜河川事務所のみなさんも下流の寒川のところで、シナダレスズメガヤの駆除をしてですね、圃場を整備しているという実績があります。時期が良かったのでカワラノギクの発芽を確認出来ている。現在そこでは、カワラノギクの圃場が完成しております。

以上なんですけれども、整備計画の原案をつくるにあたって、神奈川県河川課、厚木土木事務所、京浜河川事務所のみなさんが真摯に対応して原案が出来上がってきたんだということをお礼を述べたいと思います。どうもありがとうございました。